

わたしの戦争体験集

組合員さんからいただいた感想をご紹介します

読まれた感想・寄稿された方へのメッセージなど

祖母から様々な戦争体験を聞いていました。同様の内容や、または知らなかった話も知ることとなり貴重な機会を得たと思いました。

戦争体験者が全く居なくなる時代が怖くてなりません。もっと戦争について自分ごとのように怖さを感じる事が必要だと思う。

(大阪市・50代)

貴重な体験を寄せて頂いた方に感謝しています。私も私の両親も戦後生まれで、祖父母が早くに亡くなっていたので、実際の体験談を生で聞く機会には恵まれませんでした。

こうして話してくださる方が、まだお元気でいてくれていることこそが、宝物だなと感じます。他の方のお話も聞きたい。娘や息子にも語り伝えたいです。

(大阪市・40代)

小学6年の孫娘が夏休みに戦争の話を知るのが宿題とのことだったのですが、70歳の私は戦争体験はなく私の両親も他界しており今となっては私自身も知る由もなかったのですが、大変興味深く読ませて頂きました。

孫の小学校では修学旅行に広島に行くので、事前に平和学習をしておく際の資料にと学校に持たせようかと思っています。

(守口市・70代)

自分の生活圏内(香里園や交野市)のお話もあつたので、とても身近に感じました。

「交野の空にB29が飛んでいたんだ」というお話や天満からの疎開先で香里園に行っていたことはまったく知らないお話だったので、戦争体験集を読めてよかったと思います。

(枚方市・40代)

読まれた感想・

寄稿された方へのメッセージなど

広島での原爆の被害について、当時の新聞では「損害は軽微なり」と書かれていたことを初めて知り、驚きました。こういったその時の細かい出来事は、経験した方にしか語れないことから、少しでも多くの情報を語り継いでほしいです。

寄稿された方は、きっと、思い出すことさえも辛かったでしょう。それでも未来のために語り継いでくださったことに心から感謝します。このような冊子を作ることはとても有意義で、素晴らしいことだと思いました。

(寝屋川市・30代)

毎日元気に起きて、青空を見上げながら出勤し、金木犀の香りを感じながら夜空の下を帰宅する…そんな平和な日々は先代の皆様が守ってきてくださった日々なのだと感謝しております。

息子を出産し、ますます未来について考えるようになりました。息子の世代みんなが、自由に生き方を選び、理不尽な戦争で涙を流すことがない世の中を守っていきたいです。

(枚方市・40代)

6年生でした。編集のせいか当時のヒリヒリした切迫感が感じられなかった。

「天皇陛下の為死になさい！」洗脳と言える教育、勝てると思えない戦況、漠然と死を感じていた。

(枚方市・90代)

戦争経験者の方がだんだん少なくなってきている昨今、このような体験談は本当に貴重であり、寄稿された方々へ感謝をお伝えしたいです。これから先、実際の体験者がいなくなっていく将来、戦争というものをどのように語り継ぎ、後世に伝えて行くべきなのか考えるきっかけになりました。

(鶴見区・30代)

体験を寄稿してくださった皆様ありがとうございます。自分が子どもの頃は8月に入るとテレビなどで戦争に関する番組がありましたが、最近では減ってきているように思います。現在高校生の娘が小さい時から、「今日は戦争が終わった日だよ」と言って、話題に出すようにしていました。語り継いでいくことが大事だと思います。

(大阪市・50代)

読まれた感想・
寄稿された方へのメッセージなど

終戦の翌年に生まれましたので、戦後の様子はよく憶えています。DDTを頭に蒔かれたこと、進駐軍の兵が道を歩いていたことなどです。戦争中のことは話を聴くだけでしたが、この冊子を読んで、久々に強くこころを打たれました。

(大東市・70代)

長い間忘れていた、あの大東亜戦争の事を、当時13才だった私はこの冊子の内容全部、はっきり思い出しました。胸が痛みました(実は思い出したくなかったのですが…)。戦争は人の心を狂わせます。

(住吉区・90代)

私は昭和17年生まれの女子です。冊子を全部ゆっくり読ませて頂きました。同級生にも電話でこの冊子の事で防空ごうの件や戦争から帰ってきた父の事など、「こんな話が出るのも」といいながら…。今は毎日幸せな生活が来ているものと思い、平和が続く事を祈ります。

(交野市・80代)

自分も、京都のお寺の門前でひとりの傷痕軍人さんを見ました。戦後から二十年も経った頃のことです。亡くなった母は大阪市内に住んでいましたので、戦時中の空襲や学童疎開の体験を少し聴いたことがあります。皆さんの体験を読ませていただいて様々なことを知ることができ、母からももっと詳しく聴いていれば良かったと今になって思います。

(平野区・60代)

私が6歳のとき、父が31歳で戦死しました。鹿児島島の祖父母に育ててもらいました。それで戦争は大嫌いです。テレビを見るのもつらい思いで胸が痛くなります。

(寝屋川市・80代)

私は戦後生まれで戦争体験はありませんが、人と人が殺し合う…なんて恐ろしいことでしょう。どのようなことがあろうとも戦争はダメです。何の利にもあたいません。全世界も何とか平和が訪れますように。

(枚方市・70代)

読まれた感想・
寄稿された方へのメッセージなど

一人ひとり、戦争で起こった出来事がわかりやすかったです。

(大阪市・10代)

終戦から年数が経つにつれ戦争のリアリティが薄れ、もし日本が軍事的な対応を取ればどのような過酷な状態になるか知識と想像力がなければ考えられなくなって、人々がそうなることで政治や国際情勢も変わっていくように思います。そのためこのような記録を節目節目で思い出したり知りたいと思います。

一方で弱い国、弱い民族は戦争以前の段階で他国、他者から人権などない状態で侵害されていることも大人になってから知っています。

戦争は駄目はもちろんですが、国際情勢の変化の中で、世界の国々や人間を自分はどのように解釈して、子どもたちにどのように伝えていくのか知りたいし考えていきたいです。

(大阪市・30代)

貴重な体験談ありがとうございました。

普段から新聞や本を読まないのに、生協のチラシの中に入っていて、読み易かったです。また、第二弾、第三弾と続けて欲しいです。

(平野区・50代)

戦争を体験した人が少なくなる中、体験された方が若い世代に戦争がいかに悲惨ですべてを奪うかを伝えていくことが必要だという取り組みが各地で行われていることを以前ニュースで見ました。

そんな中この冊子を手に入れました。

戦後生まれの私は映像や本で戦争の出来事の多くを理解しているつもりでしたが、いまだにこんな事があったんだと思うことに出合います。体験した人にしか伝えられないことがあると思います。

この冊子を手にした多くの人が平和の大切さ、その平和を継承するために何をすべきか？そのきっかけを受け取ったに違いないと感じます。

(守口市・70代)

読まれた感想・
寄稿された方へのメッセージなど

ふと気になり手に取って拝読させていただきました。戦後80年ということでテレビを始めいろいろな媒体で戦争というものを振り返った夏を過ごしましたが、それとはまた異なり、より心に迫り来るような感覚を持ちました。私は34歳で戦争は未経験。戦争を経験した祖父母や親戚は亡くなってしまい、身近に戦争を教えていただける存在がいなくなっていました。実際に戦争を体験された方やその御家族の体験談を活字で読むことで、欄下の補助説明に助けられて頭の中で当時の状況を想像し考えることで、恐ろしさに身が震え、自然に涙が出ました。

今住んでいる大阪も空襲に襲われていたんだな、米軍を飛行機を見る日常がここにあったんだなと想像すると、今当たり前に子育てをして、飛行機や爆弾に怯えることなく生活できている日常がいかに大切でありがたいものなのかということに再認識させられました。

ウクライナや中東で今もなお続く戦争。本当に一刻も早く辞めてほしいです。早く戦火にいる人たちに平和が訪れますように。私も私の子どもたちも戦争を経験することなく人生を全うできますように。

(北区・30代)